



## コロナ禍での浜名湖環境活動

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、浜名湖だけでなく全国での活動やイベントが中止となりました。例年、はまなこ環境ネットワークが実施する「浜名湖エコキッズ体験塾」も、浜名湖ミナトリング2020（7月）のイベントに併せて開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

## 浜名湖プラスチックごみ学習会と外来植物の学習

新型コロナウイルスの収束について、見通しが立たない状況が続いていますが、浜名湖の水をきれいにする会が、感染対策を実施した上で、「浜名湖プラスチックごみ学習会」を開催しました。加えて、生態系に悪影響を及ぼす外来植物の駆除活動を実施する団体「舞阪の自然を守る会」の協力の下、浜松・湖西市民を中心とした県民が外来植物について学び、駆除する活動体験を行いました。



- 日時：令和2年10月31日（土）午前9時～12時
- 場所：弁天島海浜公園、いかり瀬
- 内容：海洋プラスチックごみを学ぶ（ミニ講座）  
海洋プラスチックごみを調べる（いかり瀬でゴミを拾って・分別して・考える）  
いかり瀬のいきもの観察  
外来植物を学ぶ（ミニ講座、外来植物の駆除体験）
- 参加者：一般55名（20組の親子）、関係者15名（高校生を含む・スタッフを除く）

YOU TUBEのQRコード



いかり瀬のごみを拾う



拾ったごみをグループで分類



当日の報道はYOU TUBEに掲載中



外来植物について活動団体から説明



外来植物を駆除体験



いかり瀬の現状を漁師から説明

# 活動団体紹介1 ふじのくに竹王国企業組合×ボートクラブカナル

ふじのくに竹王国企業組合は、竹林の維持管理及び活用方法をモデル化し、有用な資源である竹を通じた様々な取組を紹介する団体です。放置竹林を整備・管理したり、竹を素材とした家畜用サプリメント・ペット用サプリメントを販売するなど、竹をベースとした様々な事業を展開しています。

ボートクラブカナルは、浜名湖畔の浜松市西区村櫛町でマリナーを運営しており、遊びをテーマに全国から来訪者を受け入れています。湖畔BBQ・遊覧船・釣りなど、楽しめる場も併設していることから、ふじのくに竹王国企業組合の取組を活用する場として連携しています。



竹活用の場ボートクラブカナル

## ●竹を活用した体験型観光商品の提供

ふじのくに竹王国企業組合は竹粉碎技術を飼料・たい肥のほか、食品にも活用しています。竹を超微粉末にし、ピザ生地に加え、本格的な窯を使用したピザ作り体験教室を開催しており、竹のピザを味わうことができます。

その他、ふじのくに竹王国企業組合が切り出した竹を材料に、ボートクラブカナルで、竹灯籠作り教室・竹とんぼ教室、竹の筏を利用した「バンブーヨガ」の体験講座などを提供しています。

今後とも、竹を活用した体験型観光商品を模索していく予定です。



竹の筏でバンブーヨガ体験



竹を活用したピザの食体験

## ●団体の抱えている課題

ふじのくに竹王国企業組合は、高齢化に伴い竹林の整備や竹の切り出しなどの作業を担う人材が少なくなってきております。

また、竹を活用した更なる商品開発やビジネス展開を進めるためには、広く他団体と連携・協力していくことが重要であると考えています。

竹を活用した水上自転車の走行体験会の試行をNPOはまなこサイクルと協力して行うなど、新たな取組にも挑戦しています。



NPOはまなこサイクルと連携した竹を使った水上自転車走行体験

ボートクラブカナルでは、コロナ禍で様々なイベントが中止となったことから、新たな魅力発信として、浜名湖のロケーションを生かしたオートキャンプ場を11月にオープンしました。

今後とも、ボートクラブカナルの魅力を発信するとともに、ふじのくに竹王国企業組合と協働し、体験型観光商品の拡大を進めることで、全国から利用希望者を受け入れ、浜名湖の環境保全と観光のマッチングによるビジネスモデルを推進していきたいです。

## ●浜名湖周辺的环境に対して

ボートクラブカナルでは浜名湖オープントーナメント（釣り大会）を16年間、開催しています。近年は、クロダイ・キビレの漁獲が増加しており、浜名湖における生態系の変化を実感しています。

また、あさりの水揚げが減少し、観光客による浜名湖の潮干狩りも制限されています。浜名湖の自然環境を人間と自然が調和・共存し、多種多様な生物が存在していた昔の浜名湖に戻す必要があると感じています。

【連絡先】 ●ふじのくに竹王国企業組合（代表 大石さん）

E-mail : [fujinokuni@takeokoku.com](mailto:fujinokuni@takeokoku.com) ホームページ <https://www.takeokoku.com/>

●浜名湖ボートクラブカナル（代表 柴田さん）

E-mail : [info@bc-canal.com](mailto:info@bc-canal.com) ホームページ <http://www.bc-canal.com/>

渚園は、浜名湖の畔にあるキャンプ、スポーツなどが楽しめる浜松市の公共施設で、指定管理者(東海ビル管理株)が管理・運営しています。コロナ禍による状況の変化から、家族でキャンプを楽しみたいという利用者が多くなっていますが、利用枠を通常の半分程度に縮小しながら運営しています。

浜名湖の畔にあるアウトドア施設なので、浜名湖について学び、触れ合えるような拠点にしていくことを目指しています。



### ●浜名湖の自然観察会

渚園では、訪れる人にとって、キャンプを楽しんでもらうと同時に、浜名湖の豊かな自然環境を知ってもらいたいと考え、観察会・学習会を定期的を開催しています。

はまなこ環境ネットワークなどと連携しながら、外部講師を招くなど、週末2時間程度の自然観察会を開催することで、浜名湖の自然環境への理解を深め、豊かな生態系を守っていく大切さを学んでいます。観察会・学習会を通して、浜名湖の長所だけでなく、短所や改善点についても、多くの人を知り、考えてもらう良いきっかけになっています。



渚園の水辺で観察会を実施

### ●浜名湖に出かけて浜名湖をもっと知る!

遊船組合などと連携し、船の上で、漁師さんから浜名湖の漁場や生態系の話をしてもらう学習会を計画中です。そのほか、駐車場を活用し、浜松・浜名湖の食を体験できる場を設け、地元農家で作った農産物等を販売する「朝市」なども定期開催したいと考えています。



B B Q ガーデンを開設

### ●浜名湖の体験拠点に!

浜名湖での体験を拡充するため、BBQガーデン、クラフト体験、天体観察会、サイクリング体験等、アクティビティを豊富にそろえています。

浜名湖の環境に関しては、浜名湖の水をきれいにする会による「浜名湖クリーン作戦」やはまなこ環境ネットワークによる「浜名湖エコキッズ体験塾」の開催場所としても、協力してきました。

浜名湖体験学習施設ウォットとも隣接しているため、浜名湖の自然に関連した事業をこれからも模索していく予定です。



浜名湖の清掃活動を実施

### ●団体・施設が抱えている課題・今後の展望

渚園周辺の暴風対策で植林した松の木が「松枯れ」のため、切り倒されており、自然環境の維持や保存の必要性を感じています。

渚園は浜松市の公共施設であるため、キャンプやスポーツを楽しんでもらうだけでなく、浜名湖を知ってもらう機会を提供する場としても貢献したいと考えています。

そのため、浜名湖に関わる団体にも、積極的に施設を活用してもらい、浜名湖の情報発信について、協力していきたいです。



松枯れで倒木した松

【連絡先】 渚園(鈴木施設長) ☎053-489-2820

浜松市西区舞阪町弁天島5005-1 URL <https://www.birukan.jp/nagisaen/>

## 活動団体紹介3 舞阪の自然を守る会

舞阪の自然を守る会は、遠州灘や浜名湖に在来する海浜植物や水鳥など、恵まれた舞阪の自然を守るために活動する団体です。

弁天島に浮かぶ、いかり瀬の自然観察会、外来植物の駆除や地域の池におけるアメリカザリガニの駆除など実施しています。

特に、在来の海浜植物を外来種から守るための取組に力を入れています。



### ●発足のきっかけ

「舞阪の自然を守る会」は、浜名湖の豊かな自然環境を基に、形成された生態系が、人の手によって崩れていく危機感から平成4年4月に発足しました。

海岸への四輪駆動車乗り入れ規制、アカウミガメの保護活動、子ガメの放流会、コアジサシの観察会、美化ポスターの作成、自然環境の改善に関する啓発標語の募集、会報の発行などを行っています。

### ●弁天島いかり瀬における外来植物の駆除活動

いかり瀬には、ハマヒルガオ、ハマエンドウ、ハマボウフなどが群生しており、在来する海浜植物の宝庫であるため、自然観察会を行っています。しかし、ナルトサワギク、アメリカカタカサブロウなどの外来植物の侵入が確認されており、団体では、本来あるべき生態系が崩れないよう、定期的に外来植物の駆除活動を実施しています。

今年は、新型コロナウイルスの影響で春から夏にかけて活動を中止したところ、これらの外来植物の生息範囲が広がってしまいました。

そのため、10月31日に浜名湖の水をきれいにする会が主催した「浜名湖プラスチックごみ学習会」の参加者（親子）55名と浜松学芸高校の生徒で、いかり瀬の「外来植物の駆除（体験）」に取り組んでいただきました。

外来植物に対する活動は、来年度以降も、引き続き継続していきます。



いかり瀬に繁茂する外来植物



外来植物の駆除体験

### ●自然観賞パネルづくり

浜名湖（舞阪）の自然に興味を持っていただけるように、季節ごとの舞阪港の写真に簡単な解説を記載した自然観賞パネルの貸し出しをしています。また、舞阪協働センターの展示スペースにて、ご覧いただけますので、ご興味のある方は、是非、お越しください。

今後は、「浜名湖の魚の12か月」、「遠州灘・浜名湖のエビ類」、「遠州灘・浜名湖のカニ類」など、様々なパネルの作成を予定していますが、作成には資金が必要となるので、資金提供者を募っています。



浜名湖の自然観賞パネル

### ●団体の抱えている課題・今後の展望

外来植物の駆除活動は、定期的かつ広範囲に活動を続ける必要があり、多くの人手や労力が不可欠です。

そのため、今年度のように、浜名湖の水をきれいにする会やはまなご環境ネットワーク等、他団体や企業などの協力を得ながら、活動を継続していきたいです。

【連絡先】舞阪の自然を守る会（事務局：寺田さん） ☎ 090-2180-9073

E-mail [minamihamanakoichiro@gmail.com](mailto:minamihamanakoichiro@gmail.com)

ブログ <https://maisakanoshizenwomamorukai.hamazo.tv/>

### 【事務局からのお知らせ】

令和3年2月14日（日）に「浜名湖環境活動団体交流会」を開催する予定です。詳細は、はまなご環境ネットワークのWEBサイトやブログ等でご案内します。